

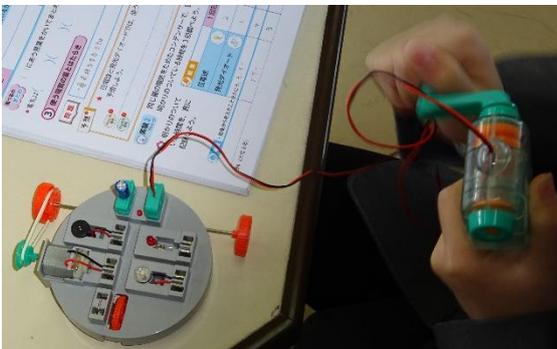
コロナ禍でも安全で楽しい授業を

オミクロン株の急速な拡大により、授業スタイルも工夫しなければいけない状況です。話し合いが必要な場合は感染防止対策を工夫したり、子供たち一人一人がしっかり集中でき、私語が少なくなるような授業を考えたりと先生たちもがんばっています。最近、製作活動や操作活動が増えているように感じます。

5年生の図工。自分だけの家庭用掲示板をつくっています。外側の形やホワイトボード周りのデザインを工夫していました。▶



▲2年生は、3人組で1年生と交流する際に使うおもちゃを作っていました。感染防止の工夫がされていました。



◀ 6年生の理科。手回し発電機で充電しておもちゃを動かしたり、プログラミングの基礎となる学習をしたりしていました。私語を控え、作業に集中していました。

「県学力・学習状況調査」(3～6年生対象) から

1月末に「県学力・学習状況調査」の結果が届きました。詳しい結果については後日お知らせする予定です。そこで、今日は、簡単にお知らせします。

まず、学力テストについては、国語・算数ともに昨年度に比べ、伸びが見られました。しかし、国語については、あと一頑張りが必要です。次に、学習状況調査については、75～95の質問があり、様々な項目で評価しますが、昨年度に比べ、全項目の約4分の3の項目で好ましい結果が見られました。しかし、4学年そろって好ましくない結果がでていたのが、「生活習慣」の項目でした。例えば、「朝は、自分で起きていますか。」「朝ごはんを毎日食べていますか。」といった基本的な生活習慣に関する質問、また、メディアの活用に関する質問です。本校の場合、メディアの好ましくない活用状況が、基本的な生活リズムの習得、家庭学習の時間の拡大、学習意欲の向上等を妨げている傾向が、全国平均に比べても強く出ています。何度もお伝えする内容ですが、メディアの活用の仕方については、ご家庭で是非とも話し合っていたいただきたいと思います。

